



みのり

発行所 金光教寝屋川教会

〒572-0037 寝屋川市葛原新町 1-11

TEL 072-829-5129

Eメール koichiyasui@yahoo.co.jp

感謝、感謝の毎日！

7月の夏季信行期間を無事に終え、当たり前のように8月を迎えることができ、有難いことに存じます。

7月初旬のこと、能登半島地震より半年が過ぎ、被災地域の復旧、復興ぶりをテレビで放映されておりました。被災した家屋、道路、上下水道、また店や工場、港の整備、漁業などの事業の再開など、まだまだという様子を伝えていました。きっと課題は山積していることでしょう。その中で、ようやく住む家ができ、食事、睡眠、入浴、トイレが支障なく生活できるようになり、「感謝、感謝の毎日です」と語っておられた初老の婦人の言葉が真に印象的で、まさに金光教の教えの実践者じゃないかと感動を覚えました。

健康生活の元は、「快食、快眠、快便」にあるということをよく聞き、生活経験の中で歳を重ねるほどに実感が深まるものと思います。妻は、なかなか安眠できないとよく言っていますが、私はいつでもどこでもすぐに眠れるほうでした。ところが、今年に入ってから花粉症なのか、鼻呼吸がしづらくなり、鼻詰まりを抑える薬なしに寝入ることができず、時に一晩中うつらうつらと夢うつつに過ごし、朝を迎えることもしばしばあります。その上に、尿路結石で時に痛みがひどくなり、鎮痛剤が欠かせません。そうになると、大小の便通もよくありません。

神様に祈念しながら、医師にかかり、服薬もし、なんとか平常を保っていますが、今まではどうだったか顧みますと、衣食住に不自由なく、好きなものを食べては寝、食べては寝、知らず知らずのうちに、大小便が当たり前のようのできていたことを思うと、実

はずべてにお世話になり、おかげを受けてのことだと気づかせて頂き、お礼と感謝の思いが深まってきました。日々に、神様に向かい、心中祈念し、

金光様、日々ありがとうございます。

天地のお恵み、ありがとうございます。

親先祖のご遺徳、ありがとうございます。

地域社会の恩恵、ありがとうございます。

わが心身の働き、ありがとうございます

と、まずはお礼を申し上げ、そのお礼の足らぬことのお詫びをし、出来事を通して、気づき改まりさせて頂き、幸せの実感を深め、その喜びをもって周囲に信心を広げ、子孫に伝え、世のため、人のために「神人の道」の実現に向けて、少しでもご神願成就のお役に立たせて頂きたく願うものです。

市村光五郎師の伝えられている教祖様の御教えに、

『今月今日で一心に頼め。おかげは和賀心にある』という見識を落としたり世が乱れる。

神々のひれいもなし。親のひれいもなし』

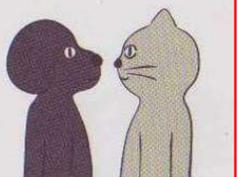
このように伝えられ、私はおかげの元は、「和賀心（やわらぎよろこぶところ）に一心（ひとつごころ）になること」と理解しております。言い換えれば、「感謝、感謝の毎日！」が過ごせるように、信心を進め、おかげを受け、幸せの輪を広げていくこと、そのことに生きがいを求めてまいりたく願っております。

夏季信行では定時のご祈念時に『こころの練習帳』を奉読させて頂きました。この教えは〇〇さんにピッタリだと思えることが多々あ

りますが、それは神様がその人を通して御教え下さっていることだと、他人を鏡にして、自身が改まっていくことと教えられています。御教えを他人事だと思わずに自分の改まりにしてい

056

他人を鏡にする



【訃報】

前教主金光平輝様が
7月21日0時46分
享年89歳にてご逝去
なさいました。



◎密葬

- ・終祭 7月24日午後7時より
(会堂お広前にて)
- ・告別式 7月25日12時より
(祭場にて)
- ・玉串料は受納されます。

◎教葬(本葬)

日時：8月29日(木)午後1時30分
場所：本部広前祭場

以上、謹んでお知らせいたします。

「ありがとうございます」 声に出し お礼の稽古を してみましよう

最近、『《神道》のこころ』(葉室頼昭著)を読んで、大変感銘を受けました。著者は、形成外科医でありながら、春日大社の宮司もされた人で、平成21年に亡くなっておられます。初版本は1997年に発行されていますから、30年近く前に書かれた書物です。著者は、学生時代に肺結核を病み、それが突然に快癒するという経験をされ、その後、医療に携わりながら、その神秘的な体験がどこから生まれてきたのかと、家柄により縁の深かった神道を探求し、宮司ともなられ、ここに本当の幸せの道があると悟られて、それをインタビューという形で書物に著されました。難しいことはよく分かりませんが、私なりに神道とはそうだったのか、金光教と変わりがないじゃないか、西洋医学と東洋医学の間には根本に大きな違いがあるのだな、などと啓発

され、感銘を受けました。

以下は、この本を読んだ私の理解です。

○

私たちは大いなるはたらきを受けて生かされて生きている。その大いなるはたらきを神と尊び、感謝して受容していくことが^{かんながら}惟神の道(神道)である。その大いなるはたらき(神々)は調和(バランス)を旨とし、宇宙の始まり以来、限りなく進化し続けてきている。そのプロセスの中で単細胞生物が生まれ、その遺伝子を親先祖から代々受け継ぎ、今の私たちが現存している。すべてに神々のお働きを受け、親先祖の遺徳のおかげで、私たちの生命が存続し、文明社会、自然環境などによって護られている。その働きへの感謝が、私たち人間の何よりの幸せの根源である。

病気の原因の一つは、我情、我欲などから、その調和(バランス)を崩すところから生まれ、感謝はそのバランスを戻し、保つ上で大いなる働きとなる。

○

このように理解させて頂きますと、下記の玉水教会掲示板の御教えは、まさに幸せの道の実践に外なりません。共々に、感謝の稽古を進め、心身ともに健康で、身代と人間と達者の上におかげを受け、世のお役に立たせて頂きましょう。(安井光一・記)

(玉水教会掲示板の御教えより)

全てに感謝できる
稽古をしましよ
う
全てを大切にす
る
稽古をしましよ
う
「ありがとうございます」
声に出し
お礼の稽古を
してみましよう



生きることってすばらしい

お天道様のお照らしなさるのもおかげ
雨の降られるのもおかげ
人間はみな おかげの中に生かされて
生きている

人間は おかげの中に生まれ

おかげの中で生活をし
おかげの中に死んでいく
のである

(理解2 としもり 利守志野の伝え)



普通は、何か問題が解決したとか、病気が治った時に、「おかげを頂いた」と言います。「お天道様のお照らし」、すなわち太陽の恵みぐらいは、「おかげ」と感じられるかもしれませんが、しかし、「雨の降られるのもおかげ」ということになると、商売の人、ゴルフに出掛ける人などは、納得できないでしょう。

ましてや、「おかげの中に死んでいくのである」と言われると、「そんな馬鹿な」と思う人がほとんどでしょう。

ここに実は、「おかげ」ということの、深い意味合いが示されているのです。一般に「おかげ」とは、何か願いごとをして、それが叶うことと考えられています。それも、確かに「おかげ」ではあります。それならば、私たち人間を含めて、幾多の生命がこの地上に存在すること、そして、それぞれの生物が天地の働き、恵みによって生かされ続けてきていることは、とても「当たり前」と言って済ますことのできない、奇跡の連続であって、それこそ「おかげ」と言わねばなりません。

あるものは「当たり前」、失われたものが取り戻せたら「おかげ」、という見方では、「おかげ」の全体をとらえられないですね。

(天王寺教会発行『生きることってすばらしい』第1集抜粋)

少年少女全国大会のご案内

参加されます皆様は、下記に留意し、元気にご参加ください。

記

日 時 令和6年8月4日(日)

(午前5時50分教会集合)

6時教会出発～19時30分教会帰着・解散。

日 程

御本部に参拝し、お礼のお届。その後、行進に参加。休憩所で昼食(弁当)後、御本部を出発し、沙美海水浴場(倉敷市玉島黒崎)で遊泳。その後、15時に出発し、帰路。教会帰着は19時30分の予定。

【往路】5:50(集合)→6:00(出発)→8:00(竜野西で休憩)→10:00(御本部到着)

御本部到着後、お広前に参拝→行進に参加(10:30)→昼食(12:00)

【復路】御本部出発(12:30)→沙美海水浴場(13:30)…現地出発(15:00)→教会帰着(19:30)



服 装 : 軽装(帽子、運動靴)

持ち物 : あせふきタオル、水筒、水着(泳げる準備)、着替えなど。

※行進の時は、白のTシャツを着用

参加費 大人4000円 子ども2000円

交通費のみで、昼・夕の食事代(1000円ほど)は含まれていません。

※レンタカー(8人乗り)で往復します。

令和6年教会の願い

金光様、日々有難うございます。

和らぎよろこぶ心を土台に

身代、人間、達人の上におかげを受け
世のお役に立たせてください。

8月の予定

日	曜	教会行事	教会長、その他	日	曜	教会行事	教会長、その他
1	木	月頭祈願祭 (14時)		16	金		扇町教会宣教 (14時)
2	金		福祉委員役員会 (10時)	17	土		
3	土			18	日	月例霊神祭(14時)	地域協 (10時) 福祉委員会(18時)
4	日	少年少女全国大会 (6時出発)		19	月		
5	月			20	火		
6	火			21	水	みのり編集会議 (10時40分)	
7	水			22	木		
8	木			23	金		
9	金			24	土		針中野教会宣教 (14時)
10	土	月例金光大神祭 (14時)	故加藤ヨシ子嬢 五十日祭・10時	25	日		
11	日			26	月		
12	月			27	火		
13	火		安井家墓参 (13時30分出発)	28	水		
14	水			29	木		
15	木		教会奥城参拝 ()	30	金		
				31	土		

第5 連合会主催『信心共励会』のご案内

日時：9月7日(土) 午後1時~4時半 (開場 12時30分) 場所：金光教寝屋川教会
 テーマ「ここまでの信心、これからの信心」 内容：①「御神号奉唱」②酒掃(さいそう)③班別共励会(飲み物、おやつ付) ※どなたでも参加できます。筆記具をご持参ください。申込みは8月25日までに教会長まで。

8月のご霊神様

柴田カズエ嬢乃霊(昭和59年8月2日帰幽)
 古川友一翁乃霊(昭和63年8月6日帰幽)
 早子幸利翁乃霊(平成15年8月12日帰幽)
 早子太一彦乃霊(昭和3年6月22日帰幽)
 児島哲良彦乃霊(平成7年8月25日帰幽)

増満トク嬢乃霊(昭和21年8月4日帰幽)
 竹本鶴吉翁乃霊(昭和20年8月8日帰幽)
 溝田卯七翁乃霊(昭和56年8月15日帰幽)
 今實彦乃霊(昭和17年8月25日帰幽)
 植田菊一彦乃霊(平成27年8月29日帰幽)

8月のお誕生 井形由理子様、金山陽子様、古川朱美様、井形実咲様
 井形俊晴様、井形比佐子様、田村加奈様、阪上ひとみ様、安井ゆかり様、
 安井光一様、己波めぐみ様、松木智弥様、菊田昌広様

